

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永宇岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
http://www.4nan.jp/
07_Alumni_association/



会長 早野憲一郎

ご挨拶

同窓会の皆さまには、日ごろから同窓会ならびに母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。例年8月に行われている総会は、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら中止することとなりました。新型コロナウイルスの感染が拡大し始めたのは、旅立ちと門出が交差する春の季節でした。新生活を始めた皆さんの中には、知り合いがいない中で、心細い思いをした人もいることでしょう。乳幼児や高齢者と暮らす皆さんは、感染防止に細心の注意を払われていることでしょうか。医療従事者の皆さんは、日々最前線で命を救うために戦っています。教育現場の皆さんは休校中、学習の遅れを防ぎ学校に行

けない不安を拭う為に、子どもとつながる方法を考えてくれました。物流を支える皆さんは24時間走り回ってくれています。飲食店、旅行業界、サービス業…大きな打撃を受けました。この新型コロナウイルスは、世界中全ての人の行動や心に大きな影響を及ぼしました。日本赤十字社は新型コロナウイルス感染症の拡大防止ガイドを作成しました。そこには、この感染症は「3つの顔」を持つていて、これらが「負のスパイラル」としてつながることで更なる感染拡大につながっている、と書かれています。3つの顔とは、「病気」「不安」「差別」であり、それぞれが影響し合うことでウイルスは力をつけ、感染拡大する。まず、未知のウイルスに対する不安が生まれ、感染への恐怖から、感染にかかわる人を遠ざけるようになる。そして、万一ウイルスに感染してしまった場合に自分も差別を受けることが怖くなり、発熱や咳の症状があっても受診をためらい、その結果感染を拡大させてしまう。つまり、「病気」が「不安」を呼び、「不安」

が「差別」を生み、「差別」が更なる感染の拡大につながる。これが「負のスパイラル」だとしています。多くの人は、「分らないもの」に対して恐怖を感じ不安を抱くとき、できるだけ多くの情報を得ようとしています。幸か不幸か、現代社会には情報が溢れており、間違った情報まで取り入れてしまつて、落ち着いた判断ができなくなり。そして、人や社会から壁を作ろうとして、新しい不安を生んでしまふ…。この情報社会で大切なのは正しい情報を選び取る力を持つ事です。そのためには日頃から冷静に物事を判断し、人の話を聞き、自分を支える力を養つておくことが必要ではないでしょうか。

今回のコロナ禍で、私たちは多くのことを学びました。想定外の事態や非常時への対処、情報の取捨選択、自分と大事な人をどう守るか、人との関係や時間の使い方の見直し、等々。まだまだ油断できない状況が続きますが、自分たちにできることを探して落ち着いて生活しましょう。そして、思いやりの心を持つて人とつながっていきましよう。最後になりましたが、会員の皆さまの今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますと同時に、南高校同窓会のさらなる発展に向けて、ご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。

休業期間中、南高では、オンライン教育の環境整備に取り組み、県内の各高校に先駆けて、早いクラスや授業では四月下旬から、五月七日からはすべての授業とホームルームをオンラインで行い、学習の遅れを最低限とすることができました。五月下旬の分散登校を経て、六月からは、出来る限りの感染防止対策を施しつつ、通常授業を開始しました。ただし、最初の三週間は主な通学手段である四日市あすなろう鉄道の混雑を回避するため、始業時間を二十分遅らせるため、授業を五分短縮し、補充のためオンライン学習は継続す



学校長 加藤幸弘

ご挨拶

四日市南高等学校六十二期生が入学した今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応とともに始まりました。県内での感染状況を踏まえ入学式は通常より五日遅れの四月十三日に実施し、翌日までのわずか二日間学校生活を過ごした後、再び県立学校一斉の臨時休業に入りました。

また、長期休業を短縮することにより、今後再びの臨時休業等が無ければ、今年度の学習内容を今年度内に学び終えることが出来ると考えています。今年度は、三年生が「高大接続改革」により従前の大学入試センター試験に代わって実施される大学入学共通テストに向かう年でもあります。活動報告書の提出が求められたり、面接・小論文等が必要とされる検査内容が増えたりします。これに対応するため、南高では、四年前から、探究的・体験的学習の充実等に取り組んできました。南高の伝統である「学力とともに豊かな人間性を育てる」とこの真価が、まさに問われようとしています。

同窓会の皆様には、社会で活躍する卒業生の生徒向けOB講演会への派遣、県の予算で賄いきれない備品の設置等にかかり、物心両面の心温まるご支援をいただき続けており、あらためて厚く感謝申し上げます。

感染防止と教育内容の充実の両立が求められる中、南高がますます充実・発展するよう教職員一同引き続き努めて参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和1年度三重県立四日市南高等学校同窓会決算報告

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

1. 〈前年度繰越金〉

21,466,391円

2. 〈収入の部〉

(単位：円)

科目	本年度予算額	決算額	差引残高	備考
入会金	632,000	630,000	△2,000	R1年度卒業生 2,000円×315人
初回会報代払込金	474,000	472,500	△1,500	R1年度卒業生 250円×6年分×315人
同窓会懇親会費	140,000	234,000	94,000	R1年度懇親会 社会人3,000円×76人 学生2,000円×3人
会報協力金	1,400,000	1,383,811	△16,189	
寄付金	0		0	同窓生寄付金
雑収入	1,000	1,108	108	預金利息 他
計	2,647,000	2,721,419	74,419	

3. 〈支出の部〉

(単位：円)

科目	本年度予算額	決算額	差引残高	備考
行事費	400,000	417,332	△17,332	総会・懇親会
会議費	20,000	16,000	4,000	役員会 2回
慶弔費	20,000	0	20,000	
旅費	30,000	0	30,000	
消耗品費	20,000	18,190	1,810	印鑑・住所等スタンプ
修繕費	0	0	0	
会報費	300,000	380,160	△80,160	同窓会会報代(第50号)及び追加会報代(第49号)
通信運搬費	200,000	298,814	△98,814	会報郵送代(第50号及び第49号)
手数料	4,000	2,818	1,182	振込手数料
委託料	100,000	66,000	34,000	会計業務委託料
分担金及び寄付 ※教育活動振興費含む	300,000	242,578	57,422	卒業記念品(印鑑等)、全国大会出場(2団体) ※教育活動振興費：折りたたみいす(¥185,328)を含む
報償費	50,000	22,260	27,740	OB講演会講師報償費及び旅費
70周年関係積立金	100,000	100,000	0	
予備費	100,000		100,000	
計	1,644,000	1,564,152	79,848	

監査報告

1 〈前年度繰越金〉	21,466,391	円
2 〈収入の部〉	2,721,419	円
3 〈支出の部〉	1,564,152	円
計 (残高)	22,623,658	円
【残高内訳】		
普通預金	1,088,535	円
通常貯金	1,001,619	円
定期預金	11,864,693	円
定額貯金	8,689,000	円
郵便振替口座	79,811	円
計	22,723,658	円
通常預金のうち100,000円は70周年積立金		

上記の令和1年度決算報告について、会計帳簿及び証拠書類等について監査を実施した結果、適正かつ正確に執行されているものと認めます。

令和2年7月3日

三重県立四日市南高等学校同窓会

監事 浦田 治

令和元年度同窓会予算、「教育活動振興費」より、体育館用折りたたみ椅子36脚を購入させていただきました。

令和2年度三重県立四日市南高等学校同窓会予算（案）

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

1. 〈前年度繰越金〉

22,623,658円

※この他に郵便振替口座に1,360,284円の残高があります。

2. 〈収入の部〉

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
入会金	636,000	632,000	4,000	R2年度卒業生 2,000円×318人
初回会報代払込金	397,500	474,000	△76,500	R2年度卒業生 250円×5年分×318人
懇親会費	0	140,000	△140,000	
会報協力金 ※	20,000	1,400,000	△1,380,000	郵便振替口座から資金移動及び名簿販売等
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息（定額預金満期利息含む）
合 計	1,054,500	2,647,000	△1,592,500	

※前年度の会報協力金は、主に平成29年の一斉発送年に協力金として振り込まれたものの本口座への振替予定額であります。

3. 〈支出の部〉

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
行事費		400,000	△400,000	総会・懇親会、講師謝礼
会議費	20,000	20,000	0	役員会
慶弔費	20,000	20,000	0	同窓会担当職員転勤等餞別等
旅費	0	30,000	△30,000	総会・地方支部会への派遣旅費
消耗品費	0	20,000	△20,000	
会報費	300,000	300,000	0	同窓会会報代
通信運搬費	200,000	200,000	0	会報郵送代、名簿発行諸経費
手数料	4,000	4,000	0	振込手数料
委託料	100,000	100,000	0	業務委託料（会計業務及びホームページ修正）
分担金及び寄付	300,000	300,000	0	卒業記念品、全国大会出場寄付金等 ※教育活動振興費（200,000円）を含む
報償費	0	50,000	△50,000	
70周年関係積立金	100,000	100,000	0	年度積立額（2年目）
予備費	0	100,000	△100,000	
合 計	1,044,000	1,644,000	△600,000	

1 〈前年度繰越金〉 22,623,658円

2 〈収入の部〉 1,054,500円

3 〈支出の部〉 △1,044,000円

予算 計〈残高〉 22,634,158円

項目間の流用等を役員会に委任する。

「令和2年度 同窓会定時総会」の中止により、予定されておりました報告事項「令和元年度決算報告及び監査報告」、並びに審議事項「令和2年度予算（案）」の資料を掲載いたしました。御質問等ございましたら、次のメールアドレスまでお寄せ下さい。ds@4nan.jp
尚、同じものが四日市南高校同窓会ホームページ http://www.4nan.jp/07_Alumni_association/ にもアップされております。

躍進する部活動

自然科学部

今年度は三年生十三人、二年生七人、一年生七人の計二十七人で活動しています。休日に海や川などで生物を採集し、それらの生物を生物室で飼育・観察・繁殖しています。また、様々な生物実験を行います。生物学に対する理解を深めています。メンバーの一部が科学オリンピックや生物学オリンピックに参加しています。

バスケットボール部

今年度は男子部30名、女子部25名で活動しています。男子は選抜大会では3回戦敗退、新人大会は地区7位で県大会へ出場しましたが2回戦敗退。ともに県ベスト16という結果でした。女子は県大会出場は成りませんでした。男女とも新チームで技術、マナーの向上および、昨年以上の成績を目指し、工夫をしながら練習に取り組んでいます。

ハンドボール部

現在部員は、男子23名、女子31名、計54名で活動をしています。限られた時間と場所で効率よく質の高い練習をきびきびと行い、なおかつ元氣よく声を出して楽しんでプレーすることを心がけています。

ソフトテニス部

今年度は異例のスタートとなりましたが、男女14名の新入部員を迎え、30名程の人数で活動しています。県大会で、団体戦ベスト16を目標に、日々、練習に励んでいます。部活動を通じて、仲間との

絆や感謝の心を養いつつ、限られた時間を有効に使用して、目標を達成できるよう取り組んでいます。ご支援よろしくお願いいたします。

3年生は披露する場もなく引退となってしまうましたが、後輩達に「目指す「走れる進学校」を体現できるように頑張っています。観ている人たちに感動してもらえ、試合ができるよう努力し、成長し

ていきたいと思っています。

ワンダーフォーゲル部

「山は楽しく、安全に」をモットーに9名で活動をしています。昨年度は「立山への夏合宿」「スキー・スノボ研修」「リードクライミング・ボルダリング」にも取り組んできました。今年度は残念ながら県総体は開催されませんでした。が、三年生の思いをしっかりと受け継ぎ、来年度の東海総体出場を目標に日々練習に励んでいきたいと思えます。今後ともご支援よろしくお願い致します。

演劇部

今年度は2名の新入部員を迎え、2年生と併せて7名で活動を開始しました。最初は緊張していた新入部員も稽古の中で隠れた持ち味を発揮することができるようになりました。

今年度は、10月上旬の三重県高等学校演劇大会北勢地区大会で上位入賞を目指します。今後とも演劇部の活動のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

音楽部

三月以降、演奏する機会もなく、焦りや不安を感じていましたが、新たに6名の新入生を迎え、練習にも熱が入っています。現在は愛

唱歌を中心に南高際に向けて練習に励んでいます。高文祭、近文際第九、アンコンと楽しい行事も控えています。歌う力、ハーモニーの力が明るい未来を切り開いてくれることを願って活動していきたくと思っています。

吹奏楽部

3月に開催を予定していましたが第32回定期演奏会は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。お客様・部員・スタッフの安全を考慮してのことでしたが、残念な判断をすることになりました。

本年度は、コンクールやコンテストは中止となりましたが、39名の新入部員を迎え、令和3年3月31日(水)四日市市文化会館にて、開催予定の第33回定期演奏会を目標に、練習に励んでいくつもりです。今後とも、よろしくお願ひします。

卓球部

今年度は県総体が中止になり、3年生は引退試合をせずして引退となってしまうました。よく努力し力をつけてきたので、最後の大会で自分達の力を試したかったことと思えますが非常に残念です。新チーム 男子12名 女子6名 が後を引き継ぎ、自律心を持ち、自分達で考えながら、目的のある

主体的な練習ができるよう頑張っています。

家庭部

今年度は3年生1名、2年生8名、1年生3名の12名でスタートしました。普段は3年生を中心に、自分達でメニューを検討し、実習を行っています。自分で作るののは難しいと思われるものが失敗なく出来たときは、とても嬉しいのです。毎年、南高祭で飲食販売を行い、好評を頂いています。今年度はコロナの影響で、飲食以外の形で参加を検討しています。

電算無線部

電算無線部は今年度、2年生4名、1年生1名の計5名で活動しています。毎週水曜日に情報室に集まり、プログラミング等、自分達で興味をもったことについて学習しています。また、新入生に見せる部活動や体育祭の紹介ビデオ、中学生見学会で上映する学校紹介ビデオ等の作成を行っています。

美術部

昨年より美術部・イラスト部が合併し、「美術部」として活動中。現在の部員数は14名。主な活動は南高祭・みえ高文祭・北勢展等の大きな展示会に向けて制作・展示を中心に取り組んでいます。それ

その個性を伸ばし自身の目標に向け挑戦・発想力を身に付ける力を重視し、部活を進めています。是非、覗きにきて下さい。

文芸部

3年生5名、2年生1名、1年生1名の7名で活動をしています。今年度は他校との交流会や学習会の機会がなかなか得られないこともあり、日々の部活動の中で個々の作品を通しての交流や、部誌作成、コンクール等への応募作品の創作に力を入れて取り組んでいます。今年度も南高祭では部誌を配布、展示予定です。

陸上競技部

今年度は残念ながら感染症対策の関係で、競技会に参加出来なまま3年生の多くが引退し、現在は男女合わせて約35名の部員で活動しています。

7月中旬に今年度最初の競技会が開催される予定です。期末考査直前の日程のため、参加者は10名程度になりますが、各自がよい記録を出して今後の向上につなげてくれることを願っています。

インターアクト部

インターアクト部は、現在40名の部員で「人のため、世のためになる社会貢献活動」をスローガン

に校内外のボランティア活動を行っています。昨年度は、「四日市まちづくり」イベントや社会福祉活動、中高生防災サミットなどに参加しました。それ以外にも毎年、ロータリークラブ主催のイベント、西日野駅への花ブランター設置、四日市あすなろう鉄道や地元の祭りを応援する取り組みを行い、人間性や社会性を磨いています。

バドミントン部

バドミントンは、本来体育館を閉め切つて行うスポーツですが、三密を避けるため扉を解放して練習しています。

6月に学校が再開され、まだ様々な制限もありますが、仲間達と一緒に再びバドミントンができる喜びに浸っています。1年生も入部し、2年生が教えるというスタンスで、いい意味での上下関係をつくつていきたいと思えます。

囲碁・将棋部

現在部員は、2年生男子3名、1年生男子2名の計5名で活動をしています。部員数が少ないながらも、昨年度よりも活動日数が増えたこともあり、質の高い将棋の練習対局をしています。

また顧問の先生の指導の下、棋力認定大会で二段・初段の認定を受けるなど良い成果をあげつつ、

日々棋力の向上を目指しています。

剣道部

剣道部は現在、1年生5名を控え、男子7名女子4名、合わせて11名となりました。

残念ながら今年の春季大会や県総体は、中止となってしまいました。3年生は気持ちを入れ替えてそれぞれの新たな目標に向かっていきます。また、1年生を迎えて2年生もやる気を出して夏の大会に向けて日々励まし合っています。困難な時勢ではありますが、これからも頑張つていきますのでご支援よろしくお願い致します。

茶道部

今年度は1年生8名、2年生6名、3年生11名の計25名で、毎週水曜日の放課後、作法室にて活動しています。羽木千鶴子先生に表千家の観点前をご指導頂いています。

毎年、南高祭では立礼棚を用いた茶席を設け、浴衣姿でおもてなしをしています。今年度はコロナの影響により、例年のような茶会には催せませんが、練習成果の披露を励みにして和やかに前向きに稽古に励んでおります。

箏曲部

現在3年生10名、2年生3名、1年生7名の計20名で、生田流正

派大師範の森雅笙先生の熱心なご指導の下、練習に励んでいます。

昨年度行われた「三重県高等学校日本音楽演奏会」において優勝し、今夏高知にて開催予定であった「全国高等学校総合文化祭」に駒を進めましたが、新型コロナウィルスの影響で、WEB開催となった大会に参加することとなりました。また、今年も、7月31日（金）に白山総合文化センター（しんざきホール）で県大会が行われます。九連覇を目指して限られた時間の中、練習に取り組んでおります。日頃の練習の成果が発揮できるよう、頑張つて参ります。応援のほどよろしくお願い致します。

柔道部

柔道部は今年度も部員2名でのスタートとなりました。近年の少子化の影響から全国的に競技人口の減少に歯止めがかからない中、本校の柔道部も苦境に立たされている状況です。

しかし、部員たちは嘉納師範の教えに従い日々前向きに稽古を重ねています。柔道の競技的価値、人格形成に資する価値が見直され、競技人口の増加が待たれるところです。

硬式テニス部

新一年生が多数入部し、男子22

名、女子29名でそれぞれ気持ちも新たに元気よく練習しております。練習時間や活動場所に限りがありますが、上位入賞を目標に努力を続けていきます。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

硬式野球部

「意志あるところに道は拓ける」という理念のもとに、甲子園初出場という目標を掲げ、活動しています。

「自分自身がどうなりたいか」を明確に持ち、受け身ではなく、その意志を発信することで目標に近づいています。私たちにしかできない、組織力、戦術、そしてつながらず、それらを磨き続けていきます。ご支援よろしく願います。

バレーボール部

男子部員26名、女子部員21名（1・2年生、マネージャー含む）で、コロナ禍の中、6月から活動をスタートしました。

短い練習時間を如何に有効に使うか、自身で何をなすべきかを考えることをテーマに日々活動しています。3年生は春季大会・県総体が中止になり「不完全燃焼」ですが、そのエネルギーを学習・希望進路実現に向けているところです。

ご注意ください

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

進路状況

今年度卒業生の主な国立大学合格校は、難関大では、大阪大(1)、名古屋大(8)、北海道大(3)。医歯薬系では岐阜薬科大(1)、ついでブロック大として筑波大(1)、横浜国立大(1)、金沢大(3)、名古屋工業大(12)、広島大(1)でした。比較的近場の地方国立大では信州大(3)、静岡大(7)、愛知教育大(4)、岐阜大(1)、三重大(31)、滋賀大(4)となっています。また、主な公立

とこれも昨年並み。一方、センター型の受験数は延べ538校(昨年489)と昨年から増加しました。なお、一般入試型にはセンター併用型も含まれており、その数はおよそ150校です。延べ受験校数1889校中何らかの形でセンターを利用しているものは、およそ690校、36.5%と高い割合を示しています。各大学がセンターを利用した受験方式や併願パターンを多様化させており、受験料の割引や、減額制度も拡大させています。

合格者の最も多かった「工学」系の大学別合格数を見てみると、名城大が62(昨年27)と最も多く、ついで中京28(昨年22)、愛知工業大28(昨年19)、中部大19(昨年16)と中部圏の大学が続きます。さらに、昨年合格数が落ち込んだ、中部・関西圏の上位・中位大学において近畿大17、南山大12(昨年5)、関西大11と回復が見られました。因みに、昨年第5位であった大同大は15(昨年11)と8位になっています。工学系についても、本校においては私立大学の難化傾向に歯止めがかかったといえるでしょう。

学部を問わずに大学別の受験件数(1人が同じ大学を複数受けている場合も全て数える)をみると、中京大が282件(昨年221)で最も多く、昨年トップであった名城大266件(昨年240)と順位が入れ替わりました。ついで南山大が145件(昨年116)と上位3大学は昨年と同じです。しかし今年は、第4位・5位に関西の上・中位大である、近畿大101(昨年41)、立命館大93(昨年71)が来ており、昨年5位であった中部大は78(昨年76)で6位、6位であった大同大は26(昨年71)で17位となりました。合格件数の順位を見ても、ほぼ同様のことが言え、全国的に続いていた私立大学の難化と、難関大から中堅大へ、さらにより合格可能性の高い大学へと受験者が流れる「超安全志向」が本校においては顕著ではなくなっています。

学部別の特徴では、「工学」の合格者比率が32%(昨年38.3% 1位)と最も高く、例年のことながら本校の大きな特徴となっています。ついで、「農林畜産・生物・生命・環境」が12.3%(昨年3.7% 6位)と大幅に伸び、昨年2位であった「看護」6.8%(昨年15.9%)と順位が入れ替わりました。第3位は「教育」10.3%(昨年12.1%)で昨年と同順位。次に「経済・経営・商学」8.2%(昨年3.7% 6位)、「文学・言語・国際・文化」7.5%(昨年

私立大学に比べて国公立大学は、教育、就職環境に優れているため多くの生徒が全国を視野に入れて出願を行っています。今年度は、センター試験受験者数が昨年より4名減少して309名となりましたが、国公立延べ受験件数は34件増加して359件と一昨年と同数になりました。また、現役合格件数146は過去10年間で最高であり、県内進学校の中でも上位に位置しています。私立4年制大学の延べ受験校数は1889校、受験者数は299名でした。平均併願校数は1889/299=6.32校(昨年6.14校)と昨年並みでした。受験形態別にみると、一般入試型の受験数は延べ1183校(昨年延べ1168校)

「社会・福祉・心理・人間・情報」(10.6%)、「経済・経営・商」(10.0%)と社会科学系の学部が続きます。第5位、6位は「農・林・畜産・生物・生命・環境」(6.2%)、「理学」(6.0%)であり、国公立大の傾向と同じく、理系学部の比率が高ま

ついで、「政治・法」(5.9%)、「看護」(4.7%)、「医学・医療・健康」(4.6%)と昨年比率の高かった医療看護系の人気が今年は落ち着いています。今年全国的には、ここ数年続いていた「文高理低」傾向が終わり、文系学部の不人気が鮮明となりました。本校でも、農学部の上昇に同じ傾向が見られますが、社会科学系の上昇は全国的傾向とは異なっています。

